

第3回 社会資本としての住環境研究会

地域と住宅



■日時 **2018年 12月21日 (金) 18:30~20:00** (18:00受付開始)

■会場 **東京大学本郷キャンパス 国際学術総合研究棟 2階 第7教室**

本郷三丁目駅 地下鉄丸の内線より 徒歩8分・地下鉄大江戸線より徒歩6分

東京都文京区本郷7-3-1 <http://www.e.u-tokyo.ac.jp/fservice/address/map-j.html>

■登壇者

園田真理子 (明治大学理工学部建築学科教授)

丹羽太一 (東京大学REDDY、一般社団法人LIFETIME HOMES ASSOCIATION)

主催:一般社団法人 LIFETIME HOMES ASSOCIATION

共催:交通エコロジー・モビリティ財団

■趣旨

日本における地域包括ケアシステムは、社会的共通資本としての「制度資本」に福祉をとりいれたものと考えられますが、制度を活用する場としての住宅がその制度基盤の中心におかれています。福祉施設や公的な社会住宅はもちろん、住まいとしてはマンションや戸建て住宅もその制度基盤をなしています。そこでは、制度資本を支えるものとして住宅も一種の社会的共通資本としての「社会的インフラストラクチャー」として捉えていかななくてはなりません。

地域包括ケアシステムにおいては、サービスを利用する人それぞれの住まい方に応じた住まいが提供されることを基本としています。介護や看護のサービスが必要なとき、今ある生活の延長上で住まい方を考えていく上で、それぞれの住まいがそのための備えをしていなければ、様々な困難が生じることになりかねません。今いる地域の中で暮らし続けるためには、その地域のサービスを充分利用でき、さらにはその地域の人と交流し、その地域で活動できることが重要であり、そのためにその人の住まい方にあった住宅が整備されていることが欠かせません。生活が地域とつながり続けるためには、住宅や建築、そして地域のデザインには何が必要なのでしょう。

三回目の社会資本としての住環境研究会では明治大学園田真理子教授をお迎えして、地域のなかでの住宅のありかた、「地域と住宅」の関係を考えたいと思います。

■プログラム

18:30-18:35 開会のご挨拶

18:35-19:00 丹羽太一 「LIFETIME NEIGHBOURHOODSの実現」

19:00-19:45 園田真理子 「地域と住宅」

19:45-20:00 質疑とまとめ

■申込み (締め切り 12月17日(月))

・定員 70名(申込先着順)

・参加費 一般¥1000 /LHA会員・学生・介助者 無料

・参加お申込みを以下のフォームよりお願いします

<https://basstronauts.sakura.ne.jp/ssl/lifetimehomes/register.html>

・情報保障:お申し込みの際にフォーム「要望/情報保証など」の欄にてに必要な情報保障などをご記入ください。

ご利用の方は、12月5日(水)までにお申し込みください。

・E-mailでのお申込:件名「第3回 社会資本としての住環境研究会」とし、お名前・ご所属・

ご連絡先メールアドレス・情報保障などのご希望を明記の上、以下お問い合わせ先アドレスまでお送りください。。

■お問合せ:contact@lifetimehomes.jp